

品番 NFMS41602Z

・器具の取り付けには電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

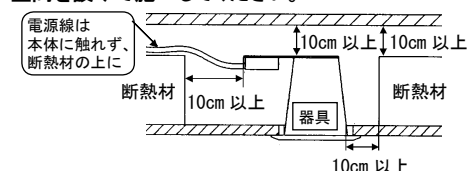
⚠ 危険

- 断熱材、防音材をかぶせた状態で使用しない。
火災の原因となります。

- ・住宅の断熱施工天井には、使用できません。

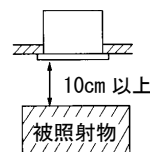


器具は、断熱材・防音材・造営材等と下図のような空間を設けて施工してください。



⚠ 警告

- 施工は、取扱説明書にしたがい確実に行う。
施工に不備があると火災・感電・落下の原因となります。
- 器具の改造および構成部品（ソケットなど）の交換はしない。
火災・感電・落下の原因となります。
- 器具の取り付け部以外の本体外郭が、天井内の造営物やダクト、電気配線等の設備に触れないように施工する。
火災の原因となります。
- 水平天井埋込専用です。壁取り付けや天井直づけ及び傾斜天井への取り付けはしない。
火災・落下の原因となります。
- 必ず表示された定格電圧（100～242V）±6%の電源電圧で使用する。
火災・感電の原因となります。
- 器具と被照射面は10cm以上離す。
被照射物の火災・変色の原因となります。



⚠ 注意

- 一般屋内用器具です。直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、水気の多い場所、腐食性のガスの発生する場所では使用しない。
火災・感電・落下・サビ・反射板の変色およびはがれの原因となります。
- 軒下、屋側通路等の雨の吹き込みを受ける場所で使用しない。
火災・感電・落下・サビ・反射板の変色およびはがれの原因となります。
- 周囲温度は、5～35℃で使用する。
指定外の周囲温度で使用すると、火災またはランプ短寿命の原因となります。
- ライトコントロール、明暗スイッチなどと併用して使用しない。火災の原因になります。
- 振動のある場所では使用しない。
火災・感電・落下・取り付け面のスキマおよび変形の原因となります。
- エコケーブル等の硬い電線を使用する場合は、端子台に力がかからないように注意する。電源線接続時や本体取り付け時に端子台に過度の力がかかり、端子台破損・はずれによる感電の原因となります。

施工上のご注意

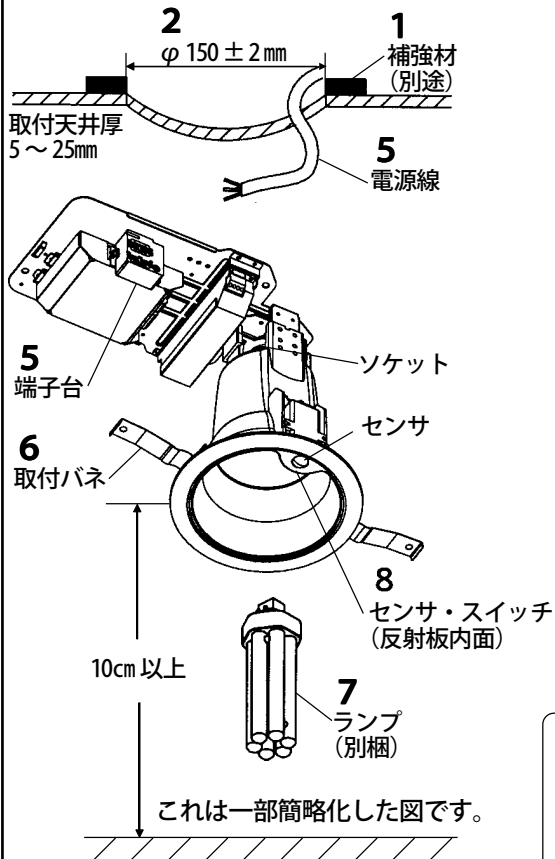
- 取り付け面がクロス貼りの場合、接着剤が十分に乾燥してから器具を取りつけてください。
サビや変色の原因となります。
- 蛍光灯は周囲の温度や風により明るさが変化します。
プレナムリターン等の換気方式で器具への空気の出入りが強い所や、低温となる場所では使用しないでください。
極端に暗くなったり、点灯直後にちらつきが発生する原因となります。

各部のなまえと取り付け方

⚠ 注意

センサを傷つけないように取り扱い。
センサが著しく傷つくと検知感度が低下します。

ロックウール等の柔らかい天井には
取り付けない。
天井材損傷・器具落下の原因となります。



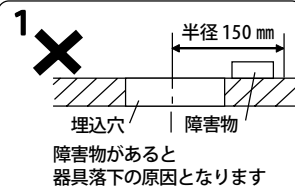
⚠ 警告

照射物・照射面との距離は10cm以上離す。
被照射物の火災・変色の原因となります。

1. 取り付け前の確認をする

- 器具質量 (約1.1 kg) に十分耐えるよう、取付部の強度を確保する。
- 天井裏には埋込穴の中心から半径150 mmの間に障害物がない事を確認する。

不備がありますと器具落下の原因となります。



2. 天井にφ150±2mmの埋込穴をあける

不備がありますと器具落下・天井材と枠の隙間の原因となります。
※精度良く埋込穴をあけるのに
ダウンライトカッターをおすすめします。

3. バンドを取りはずす

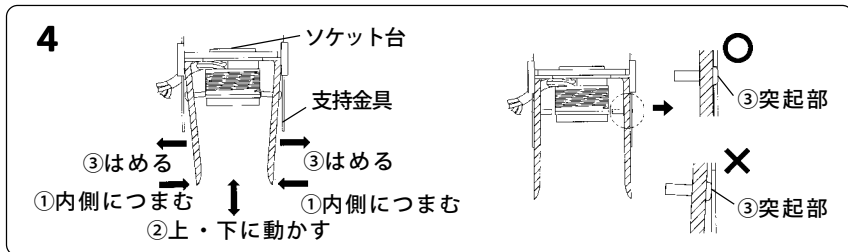
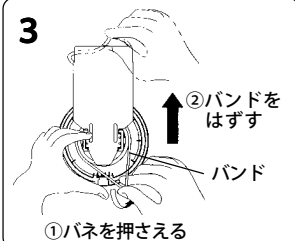
4. ソケット台の位置を調整する

- 使用するランプに合わせてソケット台を移動させる。

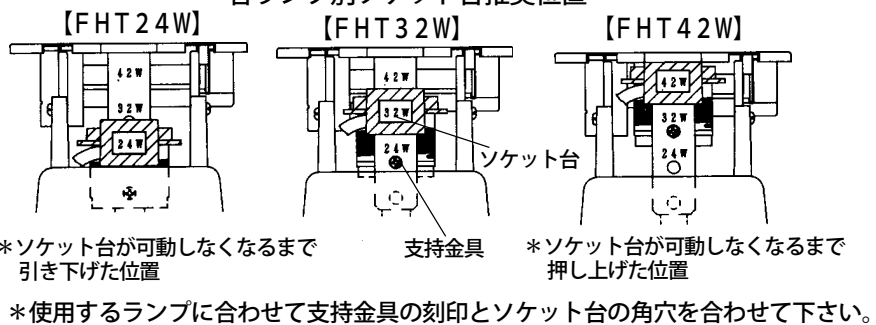
注) 調整は3段階です。
(出荷時は32Wの位置です。)

- ソケット台の先端部を内側につまむ。
- ソケット台を上下に動かす。
- 突起部を穴にはめる。

ソケット台の突起部は確実にはめてください。
不備がありますとランプ傾きの原因
およびソケット台の位置調整ができなくなります。



各ランプ別ソケット台推奨位置



5. 電源線を端子台に接続する

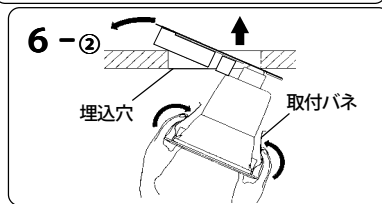
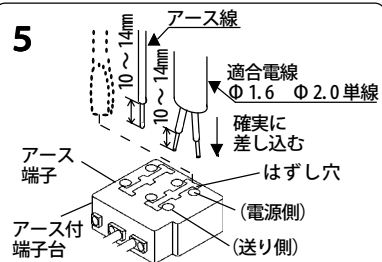
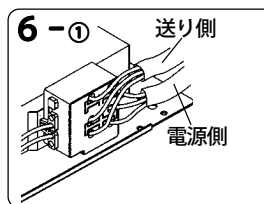
- アース端子を用いて、D種 (第3種) 接地工事を行う。
- 端子台の送り容量は20Aです。
- 電源線を差し込み穴の奥まで確実に差し込む。
接続が不完全な場合、容量オーバーした場合、火災の原因となります。

6. 器具を取りつける

- 電源線を器具後方へ取り回す。
- 取付バネを矢印方向へ縮めて枠部が天井材に当たるまで埋込穴に押し込む。
不備がありますと落下の原因となります。

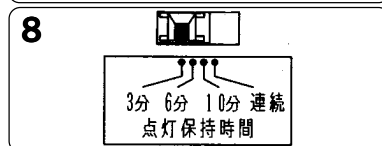
7. ランプ (別梱) を確実に取りつける

- ランプの口金ピンをソケット穴に合わせ、奥まで確実に差し込む。
- 差込んだ状態でランプを少し回転させ取りつける。
(回転角度約15°)
- 取りはずす場合には、ソケットに取り付いた状態のままランプを取りつけと逆方向に少し回転させる。
回転が不十分な場合、落下の原因となります。
ガラス管を強く握らないでください。割れるおそれがあります。



8. 点灯保持時間を設定する

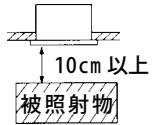
- センサ部のスイッチを操作して点灯保持時間を設定する。
スイッチの操作は必ず電源を切ってから行ってください。
注) 工場出荷時は、「3分」に設定しています。



ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みの上、正しくお使いください。

安全に関するご注意**警告**

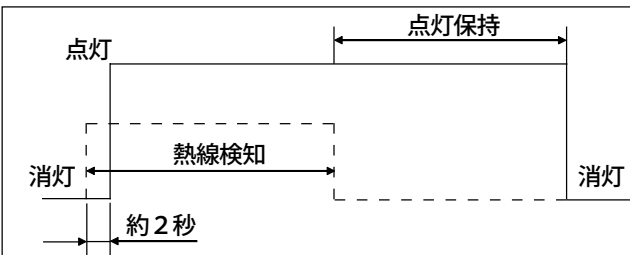
- 器具の改造および構成部品（ソケットなど）の交換はしない。火災・感電・落下の原因となります。
- 布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりしない。火災の原因となります。
- 器具と被照射物の距離は、10 cm 以上離す。被照射物の火災、変色の原因となります。
- 異常を感じたら速やかに電源を切り、販売店・工事店に相談する。火災・感電の原因となります。

**注意**

- 器具の下に温度の高くなる物（ストーブ・ガスレンジ等）や湿気を発生させる物を置かない。火災の原因となります。
- ランプ交換の際には、器具表示及び取扱説明書にしたがって、指定されたランプを使用する。指定以外のランプを使用すると、火災やランプ破損の原因となります。
- 照明器具には寿命があります。設置して10年(※)経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。
※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。
・周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
・1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
点検せずに長期間使い続けるとまれに火災・感電・落下などに至る場合があります。

設定について

- シンプルセルコンについて
・電源投入後、約1分間（センサのウォームアップ時間）は、器具は強制的に点灯し、その後、センサによる制御を開始します。（この間、点灯保持時間スイッチを操作すると減光しますが、ウォームアップ時間終了後、通常点灯に戻ります。）
シンプルセルコンの動作
人の動きなどを検知して自動的に『100%点灯』、一定時間後に『消灯』します。



人体など熱線を検知すると、点灯します。



人体など熱線を検知しなくなると、設定時間内点灯を保持し、その後、消灯します。

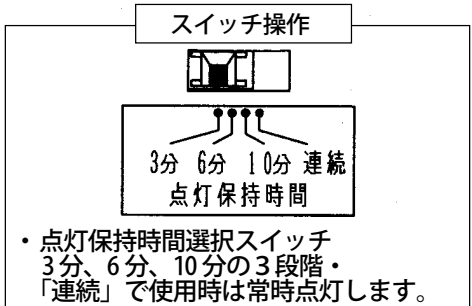
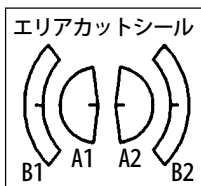
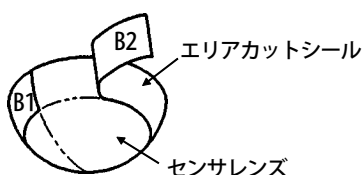
- 点灯保持時間の設定について
センサ部のスイッチで、点灯保持時間を変更できます。
＜設定の目安＞
・『3分』・・・人の動きが大きく検知範囲のカバー率の高い所
・『6分』・・・人の動きが小さく検知範囲のカバー率の低い所
・『10分』・・・人の動きが極端に小さく、比較的長時間の点灯が必要な所

●センサについて

センサは検知範囲に入る人体などの“動き”を検知します。
(検知する温度差: 3℃以上、移動スピード: 0.3 ~ 1m/s)
周辺部は、若干感度が鈍ります。

- (注) ・器具取付高さが高くなると、検知感度が鈍くなります。
・周囲温度、人体温度等の条件により検知エリアに差異が生じる場合があります。
・センサに向かって真っすぐ接近した場合、より近づかないと検知しない場合があります。
・検知範囲内でも小さな動きは検知できない場合があります。

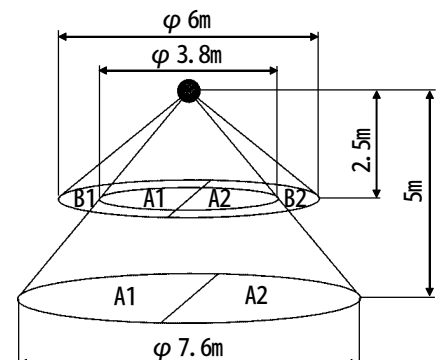
センサレンズにエリアカットシールを貼ることで検知範囲を限定できます。



検知範囲

周囲温度: 20℃の場合

※使用温度: 5 ~ 35℃



施工後の動作確認

～点灯保持時間・センサのスイッチの設定は、器具出荷状態で、“3分”になっています。～

1. センサのスイッチが、3分、6分、10分のいずれかになっていることを確認してください。
2. 電源を入れて検知範囲の外でお待ちください。約1分間は強制的に100%点灯し、その後消灯します。
3. 検知範囲内に入ってください。器具が、100%点灯します。
4. 再度検知範囲の外に出てください。設定された点灯保持時間（多少ばらつきがあります。）後、器具は消灯します。

使用上のご注意

- ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離して使用してください。雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
- 同時通訳機等の誘導無線をご使用になられる場合、雑音が入る場合があります。事前に確認し、対策を講じてください。
- シンナー・ベンジン・アルカリ系洗剤で拭かないでください。
変色・変質・強度低下による破損および反射板のはがれの原因となります。
- 周囲温度は5～35℃の場所でご使用ください。
- ランプが点滅する場合は、ランプ寿命をあらわしています。
- この器具（センサ）は、熱線を検知する為、人体以外の温度変化でも検知する場合があります。
(例)・太陽光などの強い光の直接照射
・検知範囲内の照明器具
・人体以外の小動物の動き
・エアコンなどの気流
・ブラインドやカーテンの動き
・強いノイズが入った場合
- この器具（センサ）は温度変化を検知する為、以下のような場合には検知範囲や感度が多少鈍くなる場合があります。
(例)・夏場など周囲温度が人体とあまり変わらない場合
- この器具（センサ）は、“動き”を検知する為、静止している場合や動きの小さい場合は検知しない場合があります。
- センサのビームを遮断する障害物がある場合は、検知できません。
- 人の動きが小さく、検知カバー率の低い所は、点灯保持時間の設定を“10分”にしてご使用してください。

保証について

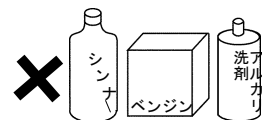
- 保証について
この商品の保証期間は1年間です。但し、蛍光灯器具・HID器具の安定器・LED電源は3年間です。ランプ・グロー点灯管・電池などの消耗品は除きます。
詳細は弊社カタログを参照ください。
- 保証書について
保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
- 補修用性能部品の保有期間
弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、6年間保有しています。
補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

お手入れ・ランプ交換



必ず電源を切って行ってください。
感電・やけどの原因となります。

- <器具の清掃について>・水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
シンナー・ベンジン・アルカリ系洗剤で拭かないでください。
変色・変質・強度低下による破損および反射板のはがれの原因となります。
- <ランプ交換について>・器具表示にしたがって、下記の指定されたランプを使用してください。



推奨ランプ

24形コンパクト形蛍光灯（パナソニック製・OSRAM製）FHT24
32形コンパクト形蛍光灯（パナソニック製・OSRAM製）FHT32
42形コンパクト形蛍光灯（パナソニック製・OSRAM製）FHT42

注意

- ・点灯中や消灯直後はランプやその周りにさわらないこと。やけどの原因となります。
- ・ランプを確実に取りつける。落下の原因となります。
- ・ガラス管を強くねじらない。割れるおそれがあります。

<ランプの取り付け・取りはずし方法>

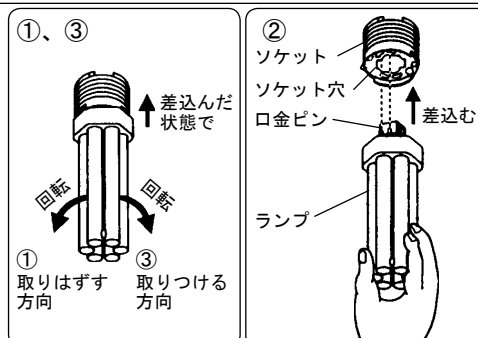
- ①ソケットに取り付いた状態のままランプを少し回転させ取りはずす。（回転角度約15°）
- ②ランプの口金ピンをソケット穴に合わせ、奥まで確実に差込む。
- ③取りつける場合には、差込んだ状態で取りはずしと逆方向に回転させる。
すべりやすい手袋はご使用にならないでください。ゴム手袋のご使用をおすすめします。

<ソケット台の位置の調整について>

- ・使用するランプに合わせてソケット台を移動させる。
注）調整は3段階です。
- ・ランプの取り付け・取りはずしは<ランプ交換について>を参照してください。

- ①ランプをはずす
- ②ソケット台の先端部を内側につまむ
- ③ソケット台を上下に動かす
- ④突起部を穴にはめる
- ⑤ランプを取りつける

ソケット台の突起部は確実に穴にはめてください。
不備がありますとランプの傾きの原因および
ソケット台の位置調整ができなくなります。



注意

- ・ランプを取りつけたままソケット台の調整をしない。
ランプ破損の原因となります。

